

【消費生活の窓口から】

「除雪機の死亡事故」7割が誤使用・不注意です！

～“安全機能 ON とエンジン OFF”が生死の分かれ目～

毎年冬になると除雪機による事故が発生しています。特に、死亡事故の7割は、安全機能を無効化する誤った使用方法や、足を滑らせて転倒するなど、使用者による誤使用や不注意によるものです。除雪機は、**安全機能を無効化しない**、状況に応じて**エンジンを切る**など、取り扱い上の注意を守って使用しましょう。

〈事例〉・使用者がデッドマンクラッチ機構（安全機能）を無効化しており、その状態で除雪機を後進中に転倒したため、除雪機が使用者に乗り上げて下敷きとなった。病院に搬送後、死亡が確認された。（80歳代 男性）

・除雪作業の途中、使用者が除雪機のエンジンを切らずにオーガ（回転部）が回転したままその場を離れたため、周囲で遊んでいた子どもがオーガに接触し巻き込まれた。病院に搬送後、死亡が確認された。（9歳 男児）

・除雪機のエンジンを掛けたまま、使用者が緊急停止クリップを装着しない状態で回転しているオーガに近づいたため、誤ってオーガに下半身を巻き込まれた。病院に搬送後、死亡した。（70歳代 男性）

【アドバイス】

◆デッドマンクラッチ機構などの安全機能を無効化しない。

◆後進する際には、転倒したり、挟まれたりしないよう、周囲の状況に十分注意する。

◆周囲に人がいない状況で作業する。

◆その場を離れるときは、エンジンを切る。

◆雪詰まりを取り除く際は、エンジン及び回転部の停止を確認し、雪かき棒を使用する。

詰まった雪を手で取り除こうとして回転部に触れてしまい手を負傷する事故が起きています。

◆除雪機は始動／停止も含め風通しの良い屋外で使用する。

作動中の除雪機の排気には一酸化炭素が多く含まれているため、屋内や換気の悪い場所で使用すると短時間で一酸化炭素中毒になる恐れがあり非常に危険です。死亡事故も起きています。

※詳しくは、消費者庁ホームページ「[『除雪機の死亡事故』7割が誤使用・不注意 ～“安全機能 ON と OFF”が生死の分かれ目～（PDF）](#)」をご覧ください。

※ご相談・お問い合わせ先

中山町消費生活相談窓口（住民税務課 住民G内） ☎ 6 6 2 - 2 5 9 3